

2025 年度 臨床心理士 定例研修会 ご案内

1. 甲府心理臨床研究所 臨床心理士定例研修会の目的

人生で最も意味があり、それ故にこそ困難な課題は“愛すること と 働くことだ” といったのは、人間の心の光と闇を切り開いた精神分析学の祖・フロイト,S.でした。混迷した日常で葛藤するクライアントに寄り添う心理臨床を実践するには、ピアニストにとってはバイエル、声楽家にとってはコンコーネ、画家にとっては石膏デッサンのような、地道な基礎学習が必要不可欠です。

この定例研修会は<心理臨床の基礎の基礎に立ち返る!!>をメイン・テーマとして、ロジャーズの傾聴理論、フロイトの精神分析による自己分析、エリクソン.Eの心理 - 社会発達理論による他者理解を三本の柱として開講します。凡庸で弱小な私たちでも、フロイトやロジャーズ、エリクソンなど、鋭く豊かな人間知に優れた巨人の肩の上に立つことができれば、希望に満ちた確かな展望が開かれるでしょう。

2025 年度は、特にジャック・ラカン、およびアーロン・ベックの理論と事例について焦点を合わせ、研修を深めます。

2. 定例研修会の内容

◎ 心理臨床的現実を失わないために、常に事例研究・事例検討の省察を重ねる。

- (1) 受容の前提条件である自己洞察を、フロイト.Sの防衛機制論から考察する。
- (2) ロジャーズ.Cの傾聴理論、自己一致・受容・共感的理解の理論的検討する。
- (3) エリクソン.E.H等の心理 - 社会的発達理論を基礎に、ライフサイクルを力動的に展望する。
- (4) コフト,H. シェーラー,M. バイステック,F.P、などの理論を背景に、共感(empathy)の概念を検討する。

3. 定例研修会 案内

(1) 参加の条件

参加者は原則として臨床心理士の方々を対象としますが、その周辺領域の方も歓迎致します。

参加者は、事例発表をお願いいたします。(詳細はオリエンテーションでお伝えします)

(2) 研修会について*1

①場 所 やまなし地域づくり交流センター 第4会議室 <https://yamanashi-cc.jp>

②開催日時 原則として毎月第2土曜日 19:00~21:00

5/10・6/14・7/26(この回のみ第4土曜日)・9/13・10/11

11/8・12/13・1/10・2/14・3/14

③募集人数 10人 (参加者の50%以上が臨床心理士)

④研修料金 全10回 ¥50,000

《心理学セミナーと一緒に申し込みますと、¥30,000になります!!!》

⑤募集期限 2025年 5月7日(水)

(3) 研修会の条件*2

臨床心理士の場合、参加者各自の出席率70%以上が、ポイント申請の基準となります。

取得できるポイントは4pです*3。

(4) お申込み方法

定例研修会参加ご希望の方は、甲府心理臨床研究所 HP の、「セミナー・研修会について」の、「お申込み・お問い合わせ」の欄より、募集期間内にメールをお送りください*4。折り返し申込資料と、払込用紙を郵送致します。また当研究所の個人情報保護方針については、「個人情報の保護方針」の文字をタップしていただくと内容が表示されます。

メールが使用できない場合は、055-298-6531 までお電話、または fax をお送り下さい。

- *1 条件が満たせないと、研修会が開催できない場合があります。
 - *2 当研究所の定例研修会は 2024 年度より 5 年先まで、日本臨床心理士資格認定協会の研修機会に認定されています。
 - *3 『『オンライン研修』の基本方針』について 3P を参照
- ◎ 詳しくは甲府心理臨床研究所 HP 「セミナー・研修会について」をご覧ください。

☆「『オンライン研修』についての基本方針」について

令和 4 年 3 月 1 日付「公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会から臨床心理士の皆様へ＜重要公告：令和 4 年度に臨んで＞」でご案内しました【「オンライン研修」についての基本方針】における項目 6：『5 年ごとの資格更新申請時、各臨床心理士が申告する研修ポイントは、その総ポイント数のうちリアル対面方式による研修機会が 8 ポイント以上含まれていることを原則とする（リアル対面方式による研修機会が、資格更新申請に必要な最少ポイント数である 15 ポイントの 1/2 を超えていること）』については、コロナ禍等の現況を鑑み、今回(令和 5 年度)の資格更新における審査基準としてはまだ適用されませんのでご注意ください。

○臨床心理士 資格更新申請要項 - 令和 5(2023)年度士資格更新該当者用 - より

以上